

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 樹
施設名	聖華ひなた保育園
報告者（役職）	野嶋 聡子（園長）
住所・連絡先	東京都荒川区東日暮里 6-28-13
	☎ 03-3806-6007
	E-mail seika-hinata@siren.ocn.ne.jp

### ○タイトル（保育計画）

基礎的体力を身につけ運動を楽しもう

### ○主な助成備品

巧技台・跳び箱・鉄棒・体操マット・パラバルーン・マウンテンポール 等

## 1. 保育計画策定の目的

聖華ひなた保育園は、2022年に開園した認可保育園です。

「丈夫な体」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」を保育目標に、一人ひとりと向き合い保育をしています。

開園当初は、園庭には固定遊具を設置しましたが、広いホールで遊べる遊具が十分に揃っていませんでした。

ホールに巧技台等の運動遊具を設置することで、天候に左右されることなく、全ての年齢の子ども達が楽しく体を動かすことができると考えました。

また、姉妹園で行っている巧技台を使用した健康体操を幼児クラスのカリキュラムに入れ、楽しみながら基礎的体力を身につけ一人ひとりの運動機能の向上を養いたいと考えこの事業を活用した保育計画を策定しました。

## 2. 具体的な実施内容

### 【健康体操（3.4.5歳児クラス）】

3.4.5歳児クラスは毎週水曜日に体操の時間があり、巧技台を使った「健康体操」を行っています。健康体操は姉妹園で行っているカリキュラムで、保育士が研修に行き学んだものを、保育の中で生かしています。

健康体操は、巧技台をサーキットのように組み様々な運動ができるので、子ども達も自分で好きな所を選択し、楽しみながら気付いたら体力が付いています。

また、巧技台はさまざまな組方ができるので、年齢によって構成を変えながら行っています。

### ●梯子を使った運動

梯子は登ったり、1本1本跨いで歩いたり、間を潜り抜けたり、様々な事に使っています。体操の時間は梯子を横に設置し、上から通り抜ける・下から通り向けることも行っています。下から通る際は腕の力が必要となり、持ち方も変えないと通り抜けることができないため、頭も使います。昨年から経験をしている5歳児はとても上手に通り抜けています。



### ●マットを使った運動

マットの上を熊歩きや、ワニ歩きをしています。途中、保育士がトンネルを作り障害物となり捕まらないように、急いで通過するといったことも行っています。また、マットは前転・後転等の練習の他に、万が一の落下時のクッションとしても利用しています。



### ●その他の利用方法

巧技台の蓋の部分とフラフープを並べ、両足ジャンプと着地を行います。それぞれの距離を変えることで、近くに飛ぶ方法、遠くに飛ぶ方法等、子ども達が考えて行っています。



平均台は年齢によって設置方法が変わります。

3歳児クラスは、横向きで渡り

5歳児になると、前向きで渡れるようになります。

高さや本数も変え子ども達のレベルに合わせて設置しています。



### 【パラバルーン(4歳児 運動会)】

4歳児クラスは運動会の種目にパラバルーンがあります。姉妹園で行っているバルーンの映像を見て、イメージを膨らませ触れていきました。実際に触れてみると、大きく膨らむバルーンに大興奮で、子ども達からも歓声が上がりました。運動会が終わった後は、3歳児や5歳児を交えて運動会で経験をした4歳児がリードし、皆で触れる機会を作りました。



### 【乳児(0.1.2歳児クラス)】

乳児(0.1.2歳)クラスは、体操としての時間はありませんが、子ども達の成長のレベルに合わせて、ホールにコーナーとして滑り台や平均台を設置して遊んでいます。



色々な設置方法を体験したら、サーキットのように組んで遊ぶこともあります。補助が必要な個所に保育士が付き、子ども達は自分で好きな所を選択し、自由に遊んでいます。定期的に巧技台を使った遊びを取り入れているので、上手に両手両足を使い遊べるようになってきました。



## 3. その成果と評価

今年度は、幼児クラスは4月のスタートから巧技台を使い健康体操を行いました。昨年度から経験があるクラス、初めて触れるクラスとさまざまですが、毎週経験をすることで、できなかったことができるようになり、子ども達の自信に繋がっていると思います。自分で好きな所を選択できるので、子ども達にとっても苦痛がなく、笑顔で楽しんでいます。友達の様子を見て、苦手な物にチャレンジする子もいます。

「できた!!」の経験が自信に繋がっています。

また、運動会では広い校庭でパラバルーンの発表をしました。練習の時は、大技の「花火」が上手くできず何度も練習をしましたが、当日は綺麗な花火となり、沢山の拍手を貰いました。保護者の方の笑顔を見た、子ども達の嬉しそうな表情が印象的でした。



#### 4. 今後の課題と展望

1年を通して巧技台を使った健康体操に取り組んできました。  
日々の積み重ねで基礎的な体力作りに繋がっていれば嬉しいです。  
また、少しずつ体の使い方も上手になり、転んだ時に手がでて、体を支えられる子が増えているように感じています。日常生活の中で小さなケガを防ぐことは難しいですが、巧技台を使った運動遊びを行うことで、「大きなケガ」を防げる体作りをしていきたいと思います。

以上